

浦安市は、千葉県の最も東京寄り（北西部）に位置しており、旧江戸川を挟んで東京都江戸川区と接しているまちです。かつては陸の孤島と呼ばれた漁師町でしたが、二度にわたる埋立事業とそれに続く住宅や鉄鋼流通基地、テーマパークなどの開発により首都圏屈指の良好な住環境を誇る住宅都市として発展してきました。都市構成は、住宅ゾーン（元町、中町、新町の3地域）と東京デイズニールゾートを擁するアーバンリゾートゾーン、全国一の鉄鋼流通基地を持つ工業ゾーンの三つの都市構成になっています。

人口は、令和4年6月で17万人弱。また、高齢化率においては、かつては日本一低い市町村でありましたが、現在は18%を超えています。

※令和2年4月策定「浦安市総合計画」より

■ベイシニア浦安の概況

ベイシニア浦安は、昭和39年5月に創立され、現在は49人クラブ、3千人強の会員で活動しています。

活動理念は《延ばそう！健康寿命 担おう！地域づくりを》。運営は、3部会の女性部会（61名）・体育部会（50名）・文化部会（39名）、5委員会の広報委員会（6名）・防犯防災委員会（6名）・福祉委員会（13名）・交通安全委員会（6名）・若手委員会（7名）の体制で、「健康づくり・生きがいづくり・地域づくり・仲間づくり」の活動を実施しています。また、その活動の拠点として各クラブに「老人クラブ会館」（通いの場）もあります。

■デジタル化に挑戦

本年度は、前述のほかにスマホを利用した『地域コ

まちむら発見① スマホで人生を豊かに ～地域コミュニケーションアプリに挑戦～

千葉県浦安市 ベイシニア浦安（浦安市老人クラブ連合会）

コミュニケーションアプリ【MetellIFE】—ミテラライフ—を取り入れ、デジタル化に高齢者団体として挑戦しています。

II アプリの3本柱 II

防災・コミュニケーション・ヘルスケア

現在は、災害時の安否確認は人が玄関先まで出向き確認、クラブからのお知らせは月例会・会報及び緊急の場合は電話連絡網、毎日測定している血圧等はノート管理、とアナログな方法で行っていますが、これからはこのアプリを利用することによってスマホ1台でデジタル管理ができるようになります。

1. 防災

いざ災害が発生した時に管理者のスマホから会員へ安否確認情報を送り、それに回答するだけでスムーズに効率的に安否を確認することができます。

助けを求める回答のあった方の救護、回答の無い方及びアプリを利用していない方の安否確認、と本当に救助が必要な方に集中することができます。

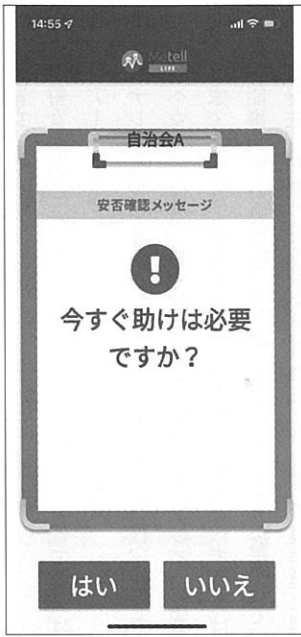
2. コミュニケーション

(1) 老人クラブからのお知らせ・情報をスマホからいち早く会員に発信できます。

(2) 高齢者の在宅での生活を支援する友愛活動としての安否確認も行います。

在宅福祉を支える友愛活動は訪問型を中心に進めていますが、トーク機能を使って、災害時だけでなく常時1対1の安否確認ができるようになります（デジタル友愛訪問）。また、仲間同士間での会話も楽しめます。

3. ヘルスケア



ミテルライフ
(災害時の安否確認)

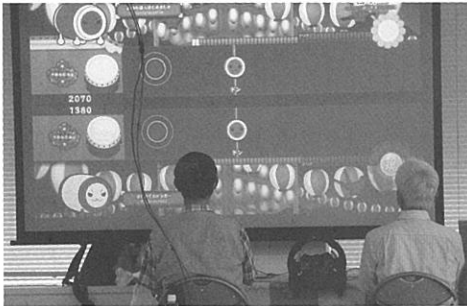


ミテルライフ
(未回答者の一覧)



ミテルライフ
(効率的に状況を把握)

血圧・体重・歩数等の毎日の測定記録がスマートフォン台で効率的に管理できるように現在開発しています(将来的には一日の会話量も管理)。病院の診察時にスマホの健康情報を医師に提示することで診察の際の重要な診断材料の一つになります。



eスポーツ「太鼓の達人」



スマホ教室

■今後の課題と展望

急速に進む高齢化と社会のデジタル化に伴い、デジタルの恩恵を受けられる層と受けられない層の情報格差が問題視されています。特に年齢の相違による格差。要するに高齢者のデジタル・デバイド問題です。

そこで、それを解消するために最初に取り組んだことは、スマホの利便性を知ってもらうために、5月から12月にかけて、希望すれば週3日(3回/日)スマホ教室が開催できる環境を整えました。また、ITを楽しんでいたために、「eスポーツ体験会」も開催していきます。

現在、7クラブとベイシニア浦安の役員、部会・委員会が先行でアプリを利用していますが、来年度中には会員の5割の利用を目指して促進活動を繰り広げていきます。新しいことを導入することは今までは「変わる」怖さがあるかもしれませんが、その分楽しくもあります。これからは高齢者団体であるベイシニア浦安自ら「高齢者のデジタル・デバイド問題」解消にチャレンジしていきたいと思っています。

スマートフォンで、日常や特に災害時、誰かとつながっている安心感。これこそアプリを取り入れた動機であり、ベイシニア浦安がこれから目指すところです。

■もう一つの新規事業

アプリ導入のほかに、『80GO(ハチマルゴー)』を目指して、本年度から新しく取り組んでいる事業があります。順天堂大学とタイアップして、年齢を重ねても自力で「歩くための筋力」を維持し、自分らしい生活が続けられるように「ロコモ予防の運動教室」を開催しています。

(ベイシニア浦安会長 相原勇二)